

☆はじめに

今月の月例報告書は観光をメインにご紹介したいと思います。台湾では4月1日から4月5日まで連休があります(3日は平日ですが、師範大学は振替休日にしていただいているのでお休みでした)。この連休を利用して今回は日本から遊びに来てくれた文芸大の友人とルームメイトと台湾の左側制覇旅行をしました。

☆九份(きゅうふん、jiu fen)

九份は公共交通機関を使用すると台北中心部から1時間半から2時間くらいかかります。行くのは今回が初めてだったので、千と千尋の世界観そのままの九份に引き込まれました。有名なフォトスポットの被写体のお店でお茶をいただきました。このお茶屋さんは最初に日本語か韓国語かと聞いてくれて日本人だと答えると日本語でお茶の飲み方を教えてくださいました。最初の一杯は細い小さなカップで香りを楽しむそうです。とっても良い香りでした。表しがたいですが、日本のお茶とは違う香りがした気がします。



☆台湾左側制覇旅行

1日目：台中(tai zhong)

・大甲鎮瀾宮 (da jia zhen lan gong)

台湾のお寺やお宮は茶色ベースに細かい彫刻がたくさんあり、カラフルな色彩で屋根の先端が反り返っているという印象があります。中に入ると皆さん線香をもってお参りなさっています。そしてお祈りするときは三回拝礼します。その際に神様に自分の名前と生年月日、現住所を伝えるそうです。



(4 枚目は大甲鎮瀾宮ではなく、台湾の寺院の屋根が反り返っていることを示したためにあげた別の寺院の写真です。)

・清水鬼洞 (qing shui gui dong)

第二次世界大戦中に日本兵の方々が防空壕としてつかっていらっしやった遺跡です。天上も低く少しかがまないと頭が当たりそうなくらいの高さで、人がすれ違えない程の狭い道が続いていました。奥まで進むと寝床だった場所や台所、休憩室などがありました。とても狭い空間なので長期間生活するのは本当に大変だっただろうと思います。この日は 25℃くらいでしたが、20 分いただけで少し息苦しさを感じたのもし夏場に行かれる方がいらっしやったら注意が必要です。日本が台湾を統治していた時代もあるので、自分の足でその当時の遺跡を訪れることに大きな意味を感じました。



・高美濕地 (gao mei shi di)

田舎道を小さなバスに揺られて 30 分ほど。着いた途端雨が降り出し、帰りは臺鐵(台湾の在来線)の最寄り駅に着いた途端雨がやむという運の悪い私たち。曇天のち土砂降り、強風という悪天候の中でしたが、日本ではなかなかみることができない地質を近くで感じる事ができてよい経験になりました。



生憎の天気

2日目：日月潭 (ri yue tan)

・日月潭

日月潭は台湾で一番大きな湖です。日月潭へは台中駅から高速バスに乗りました。大体2時間くらい乗ったかと思います。ここでは、フェリーに乗ったり、サイクリングしたり、バーベキューしたり、キャンプしたり、いろんなことができます。私たちは、フェリーに乗って対岸まで行き、ロープウェイにも乗りました。ロープウェイは結構高い位置まで上って行ってすこし怖かったです。行きは底が見えないタイプに乗ったのですが、帰りは底が透明なタイプに乗って帰ってきました。少し怖いけど自然の広大さを高い位置から見ることで底が見えるタイプにも挑戦してよかったです。行きも帰りもフェリーに乗ったのですが、久しぶりに船に乗ったのでとても気持ちよかったです。2日目は1日目と違い天気も良かったので、景色も綺麗でより楽しむことができました。



・カルチャーショック (牛肉湯)

今回の旅で一番驚いたのは牛肉湯を食べに行ったときです。夜も遅いしテイクアウトしよ～そう思っていたらスープと生肉を渡されてびっくり！！！！

生肉そのまま食べるんですか！！！！

「スープに肉を入れて混ぜるんや～」ってお父さん。言われていることはなんとなくわかったけど生肉を熱々のスープに入れて食べるという概念がない私たちは混乱状態。聞き間違いかと思っっているような角度から質問してみたけれどやはり生肉を入れて混ぜるらしい。半信半疑で投入し、食べてみることに…！ おいしい！！

ソースは自分で作るみたいでしたが、私たちが初心者すぎてお父さんソースを作ってくれました。謝謝老闆。

おいしいおいしいと何度も言っていたので居合わせた常連さんに「おいしいって好吃って意味？」って聞かれました笑笑

おなかも壊さなかったのが皆さんも台南に行く機会があれば食べてみて下さい。本当においしかったですよ～（あまりの衝撃に写真を撮り忘れしました。）

3 日目：台南 (tai nan)

・安平古堡(an ping gu bao)

安平古堡には学生証の提示で台南市外から来た学生料金（半額の 35 元）で入場することができました。ここではオランダ統治時代から清にかわり、日本統治に変わった歴史を学びました。古堡の近くには安平老街というお店が集まっている場所があります。そこでかわいいお土産もゲットすることができます。神農街(shen nong jie)という場所にも行きました。ここでは台南名物の意麵(yi mian)と揚げ物、蕃薯椪(fan shu peng)白糖粿(bai tang guo)芋頭餅(yu tou bing)を食べました。特に白糖粿がおいしかったです。帰りの電車関係でいけなかったのですが、次回台南に行く機会があれば行きたい場所が3カ所くらいあるので留学が終了するまでにまた行きたいと思います。



・優しい人

台南駅で電車を待っていると、老夫婦に話しかけてもらえました。ホームまで送ってくれたり、水や果物をくれたり、台南駅の歴史を教えてくれたりしました。なんて優しい。日本では勇気を出さないと聞けないことも外国人マインドなので台湾ならなんでも人に臆せず聞くようにしています。少しずつわからないことが減っていったらいいな。



いただいた果物。莲霧(lian wu / レンブ)という果物。リンゴみたいな味？

☆中国語力の伸び

旅を通して感じたことは自分の中国語力の伸びです。台湾の方は基本フレンドリーなのですが、台北から南に行くにつれてよりフレンドリーさが増します。そのため旅中、お店の人と会話する機会も多かったです。恥ずかしながら台湾に来たばかりの時はお店の人がおっしゃっていることが分からないことが多々ありました。けれど旅中ではお店の人や街の人と世間話をできたのです。そのことが自信につながりました。

それもそのはず日本にいた頃は週に3時間の授業しか受けていなかったのに対して現在は週に14時間中国語の授業を受けています。環境も中国語に囲まれている。伸びないとおかしいです。それでも今回の旅で伸びを感じることができたことは自分にとって大きな出来事でした。(ちなみに現在も聞き直すこと、意味を説明してもらわないと理解できないことがあります。精進いたします。)

本報告書を書いている現在(4月末)は旅から約1ヶ月経っているのですが、語彙も少しずつ増えてきているのを感じています。楽しいです。しかし、周りには自分よりもできる人がたくさんいるので刺激を受けながら自分なりに成長していけたらと思います。

☆終わりに

今回の報告書では4月上旬の旅行についてしか触れることができませんでしたが、学習面では中国語のプレゼンやテスト、英語でのディベートがあり準備に追われていました。刺激的な毎日なので今月が過ぎるのもとても早く感じました。留学に来てから時間が過ぎるのがとても早いです。気づいたら留学が終わっていたということにはならないように計画的に毎日を過ごして少しでも実りある留学にしたいです。